

草津市立矢倉小学校通信 令和2年5月18日 NO.3



# やぐら通信

～ひとみキラキラ豊かな心と体の矢倉っ子～

## 子どもの声 やぐらっこアンケートより

学校のホームページに開設した「やぐらっこアンケート」。最後の設問は自由記述となっている。このアンケートは、前半は回答した個人が特定できるような設問で、後半は、「勉強はわかっているか、こまっているか。」「生活のことで、いちばんこまっていることはなにか。」「気持ちは、どうか。」そして「自由記述」という構成だ。

回答状況は、5月14日現在で275件。全校児童が583人だから、おおよそ半分くらいの子が回答したといえる。どの学年もほぼ同数の回答件数だ。もちろん、何度でも回答できるようになっているから、実人数で言えば三分の一くらいかもしれない。アンケートへの書き込みは、日々の宿題とばかりに日課のようにしている子もいる。

自由記述から…

「もともと勉強が得意じゃないので勉強するのがむずかしい。」「わからないことがあったときに、先生や友だちに聞くことができない。」「課題はしているけど、みんなが毎日どのぐらい勉強をしているのが不安なので早く授業を受けたいです！」

中には、こんな記述もある。

「10回見たけど宿題の答えが入っていなかった。親が答え合わせしたが、今度何かを配布することがあったなら、そのときに、解答をいれといてほしいです。よろしくお願いします。」「宿題の勉強の質問がよく分からず、お母さんが近くにいると教えてくれないと勉強がわからない。一人でやることができない。」「宿題が多すぎるので、一人ではわからないのでどうもできません!回収する前にオンラインで勉強教えて下さい。」「毎日友だちと遊んで楽しいのですが、遊ぶ場所がなくなってきました。怒られることも増えてきました。」

学校側が、子どもたちが取り組みやすいようにと配慮したつもりでも、本人にも、ご家族にも迷惑をかけてしまっていたということが見えてくる。結局は、当の子どもがその一切を引き受けて、精一杯の努力をしながら取り組む…そんな姿が思い浮かんできた。子どもの頃、夏休みの宿題に追われ、先生からも、親からも厳しく言われたときの自分と重なり、ますます心が痛む。

もちろん、たいいていの場合、「はやく学校がはじまってほしい。」とか、「友だちに会いたい。」「あそびたい。」、そして「とくになし/無回答」も多い。

思わずクスッと笑えてきて、ほっとしたのは、「ありません めっちゃ元気です！」

5月も半ばを過ぎた。月末までは、午前中の分散登校となるが、やっと子どもたちに出会えるといううれしきでいっぱいだ。どうぞ今のこの調子で完全再開となりますように。

校長 大林道範